

# 成人男性風疹抗体検査及び予防接種のお知らせ(令和3年度)

## 【対象者】

宇陀市に住民登録がある、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性  
但し、下記のいずれかに該当する方は、希望者のみ受けることができます。

- ・過去に風しんにかかった(検査で証明)記録がある方
- ・過去に風しんの予防接種※をした記録がある、または接種したか不明の方  
※風しんの予防接種とは、風しんワクチン、麻しん・風しん混合ワクチン(MR)・  
麻しん・風しん・おたふくかぜ混合ワクチン(MMR)
- ・平成26年4月以降に風しん抗体検査を受けて抗体がある記録のある方

## 【実施期間】 クーポン券の有効期限 令和4年3月31日まで

※期間は2022年(令和4年)3月31日までですが、なるべくお早めにお受けください。

## 【抗体検査・予防接種までの流れ】

クーポン券を確認します  
紛失した方は市役所  
健康増進課で再発行します

⇒ どこで抗体検査を受けるか決めます

(再発行を希望する方は令和3年9月初旬に送付したハガキをご持参ください)

- 医療機関で受ける → 医療機関に申し込む。  
(医療機関で健診を受ける場合も含む)
- 宇陀市の保健センターでの特定健診・がん検診の機会に受ける  
→ 中央保健センター(☎0745-92-5222)に申し込む。
- 事業所健診の機会に受ける → 勤務先の企業に問い合わせる。

↓

**抗体検査の結果が届きます** (※医療機関に結果を受け取りに行くこともあります)

抗体 なし

- ・風しんへの抵抗力がありません。
- ・風しんにかかるリスクがあります。

抗体 あり

- ・風しんへの抵抗力があります。
- ・定期の予防接種の対象となりません。

↓

**予防接種を受けましょう** (同封のクーポン券、本人確認書類、抗体検査結果通知が必要です)

★**抗体検査・予防接種**は、本事業に参加している全国の医療機関等で受けられます。

☆医療機関のリストは厚生労働省のホームページをご覧ください。(市内医療機関は裏面)

【お問い合わせ先】 宇陀市役所 健康増進課 直通☎ 0745-82-3692  
IP☎ 0745-88-9087

令和3年度 風しん（抗体検査・予防接種）宇陀市内実施医療機関名簿

| 医療機関名      | 住所              | 電話番号         |
|------------|-----------------|--------------|
| 久保医院       | 大宇陀拾生 1858      | 0745-83-0028 |
| 拓誠会 辻村病院   | 菟田野松井 7-1       | 0745-84-2133 |
| 加藤クリニック    | 榛原長峯 200-2      | 0745-82-8880 |
| 熊田内科クリニック  | 榛原天満台東 1丁目 10-3 | 0745-85-3550 |
| 城井内科医院     | 榛原下井足 12-1      | 0745-96-9680 |
| たかしま耳鼻咽喉科  | 榛原萩原 2843-26    | 0745-82-8711 |
| 谷口内科医院     | 榛原あかね台 2丁目 19-5 | 0745-82-5888 |
| 萩乃里診療所     | 榛原萩乃里 5-1       | 0745-82-5367 |
| 山本診療所      | 榛原ひのき坂 2丁目 1-9  | 0745-82-6707 |
| 吉井整形外科医院   | 榛原福地 374-1      | 0745-82-2888 |
| 宇陀市立病院     | 榛原萩原 815        | 0745-82-0381 |
| 福井療院       | 室生大野 2253       | 0745-92-2006 |
| 宇陀市国保東里診療所 | 室生上笠間 2982-1    | 0745-92-3741 |
| 宇陀市国保田口診療所 | 室生田口元上田口 2054   | 0745-93-2101 |

※風しん（抗体検査・予防接種）の受診をする際、医療機関にお問い合わせください。

**よくあるご質問**

Q. どうして風しんの追加的対策を実施しているのですか？

A. 風しんは感染者の飛まつ（唾液のしぶき）などによって他の人にうつる、感染力が強い感染症です。妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、出生児が先天性風しん症候群（眼や耳、心臓に障害が出ることになる）可能性があります。大人になって感染すると、無症状または軽症になる事が多いですが、まれに重篤な合併症を併発することがあります。また、無症状でも他人に風しんをうつすことがあるので、感染を拡大させないためには、社会全体が免疫を持つことが重要です。